

しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』No.12	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台2-14-7 ☎090-7275-9890 2015, 11, 15
---	--

第12回活動「手漉き和紙体験と日本酒の蔵元見学」

- ・ ・ ・和紙って？
- ・ ・ ・何から紙をつくるのだろうか？
- ・ ・ ・お米が、どのようにしてお酒になるんだろうね？
- ・ ・ ・みかん狩りは、初めて！

1, 日 時： 2015年11月15（日）全日
 天気 雨のち曇り、のち晴れ

2. 場 所： *東秩父村和紙の里
 埼玉県秩父郡東秩父村大字御堂441
 0493-82-1468
 *晴雲酒造株式会社
 0493-72-0055
 *みかん狩り
 見晴園
 0493-82-1041

3, 参加者： 16家族 内訳 大人 20
 中学生 5
 小学生 16
 合計 41 スタッフ3 総計44

4, 活動の様子

だんだん天候は回復してきて、最高のバス見学になりました。

○ 和紙漉き体験

埼玉県でただ一つの村、東秩父村は人口3100人。「人口は減ったけど、観光客とイノシシと鹿は増えた」と、村の人は笑っていました。

和紙作りが盛んになった理由として、

- ①山村であること。80%が山林。
- ②水がきれいであること。
- ③平地が少なく、斜面で育てる楮（こうぞ）に適していたこと。

をあげています。

●楮（こうぞ）

クワ科の落葉低木。高さ3メートルほど。雌雄同株。

●和紙の原料

- ①楮（こうぞ）
- ②みつまた
- ③がんび

ここでは、楮だけをつかうようです。それでも30%だけが東秩父村のもので、他は四国などから補充するとのこと。

●和紙づくり

- ①蒸して、皮をむく →黒皮
- ②煮て、冷水にさらす→白皮
- ③手で、ゴミをとる
- ④棒でたたき、柔らかくする
- ⑤細かくする（紙のもとになる）
- ⑥トロロアオイを入れて混ぜる

（のりではなく、こうぞの繊維をととのえて漉きやすくする）

- ⑦紙を漉く

●和紙の利用

写経、古文書保存、建具、障子、びんせん、卒業証書、
はがき、花火、油紙、着物をしまう紙

細川氏とは、主に帳簿に用いる大判の楮紙

もとは紀州細川村で産出

半紙とは、大判の杉原紙（奉書用の和紙）を半分に切って使うことから
この名が定着

* 風船爆弾

第二次世界大戦の1944年（昭和19年）11月から翌年の3月にかけて、茨城県から9300個余の和紙をつかった爆弾が、偏西風に乗せてアメリカに向かわせた。そのうち約360個の爆弾がアメリカ西海岸に到着したといわれている。

放流地跡近くには（五浦美術館）「忘れじの平和の碑」や風船暴発による爆発事故の犠牲者を弔う鎮魂碑がある。

●和紙漉き

縦にふり、横にふり、波が真ん中に来るように！
体が動き、難しかったですね。

○ 晴雲酒造を見学

酒蔵をじっくり見学・説明をさせていただきました。

大人はしっかり聞きましたが、子どもたちにとっては苦痛だったようです。

●精米

脂肪やタンパク質を取り除きます。それらが残っていると、エグミ・ニガミなどのもとになるということです。

だいたい60%の精米だということです。

その精米は

一次精米・・・茶色、いわゆる米ぬか、田んぼや畑で利用

二次精米・・・白色、鳥などのエサ

三次精米・・・白色、だんごやせんべいの増量材

四次精米・・・白色、だんごやせんべいの増量材

そうして、1～4次まで、すべて糠としてあつまっているそうです。

つまり、「食料ではない」ということですが、だんごやせんべいの増量材として使っているというのは、矛盾がありますね。

●酒は二種類

①濁酒（ドブロク） にごりざけ、もろみざけ、しろうま、と呼ばれている

②清酒 すみざけ

日本の代表的な醸造酒。

蒸した白米に、麴・水・酵母を加えて発酵させて醪（もろみ）を造り、これを搾り・濾過して製造する。

●晴雲酒造の酒づくり

①米麴を、2日間かけてつくる

②15℃以下で発酵、約20日間

③なぜ寒い時期に仕込むのか

* 原料である米がとれる

* 蒸した米を冷ましやすい

④熟成期間

ビール 7日

ワイン 14日

日本酒 20日

●甘口・・・発酵期間が短い、だから糖分が残っている

辛口・・・発酵期間が長い

●20トンの蒸し米から、4000リットルの酒をとる（五分之一）

残りは、酒粕

●産酒量 一番 兵庫県

二番 秋田県

三番 新潟県

四番 埼玉県 意外と多いのです！

説明を聞いた後は、しっかりと「利き酒」をしてきました。どれも美味しかったですね。子どもたちには、甘酒がサービスされました。

○ みかん狩り

山の斜面を利用したみかん畑。黄色い実は「花が咲いているよう！」という言葉がピッタリでした。

「触って、皮の柔らかいみかんをみてください」とのアドバイスをいただき、さあー、ネットの袋を持って、いざみかん山へ！

甘い酸っぱいの、大きい小さいの、大地の恵みが太陽の光を受けてたわ

わに実っていました。

下りの15分の道のりからは、遠くの斜面の集落や野菜を作っている畑など、人の手の入っていることの美しさをしみじみと感じさせてくれました。

当に、自然と人との共生が里地里山の美しい風景をつくりだしているように思えてきました。

5, 親と子の、いきいき感想

「紙すきは たいへんだけど きれいだな」

紙すきが、とても難しかった。

中学1年

「蝶がとぶ 和紙に花そえ きれいだな」

和紙を体験できて、楽しかったです。

あっという間でしたが、何枚も漉くと考えたら重労働ですね。 母

ともだちとあそんだ。

みかんは、すっぱかった。

かみは、おもしろかった。

ばすは、ビデオをみたいです。

もう、やまには、のぼりたくないです。

栗原北小1年

「楽しいね けどもうつかれた いえでねよう」

「みかんうまい 虫や坂は だいきらい」

「酒くらは なにがなんだか さっぱりよ」

初めてのみかんがり！たのしかったけど、虫が多い！

和紙は世界文化遺産で、実際、体験してみてもうかしかった！

関原小6年

初めての参加。朝は雨だったが、晴れてよかったですし、子どもも大人も楽しくすごせたと思います。 母

みかんがり、楽しかった。

和紙を作るときに、リズムよく同じ力で動かさなかった。

むずかしかった。

横浜市末広中2年

「みかん狩り 当たりやハズレ けど当たり」

晴れてよかったです。

紅葉は、もう少したってからかな？

鹿浜中3年

わしづくりがおもしろかった。

鹿浜西小3年

「日本酒や 早く新酒が 飲みたいな」
「わしが和紙 すいて楽しい 冬近し」

父

「紙すきが ぬるぬるしてて つめたいな」
紙すきが、おもしろかったです。スライムみたいで、ぬるぬるしていました。
みかんが、おいしかったです。
あつかったです。

鹿浜第一小2年

「家族でね みかんをたくさん つめたんだ」
紙すき体験が難しかったです。
みかんはいっぱい食べて、満足しました。さがすのが楽しかったです。

鹿浜第一小5年

「みかん狩り 網と胃袋 満ばんだ」
和紙も酒も、きれいな水や地域の環境の影響を受けていると感じました。

父

紙すき体験ははじめてで楽しかったですが、冬は水も冷たく、重労働だとわかりました。

みかん畑は、満開の花のようにみかんがなっていて、きれいでした。

母

「紅色の 木々に囲まれ さわぎ食べ」
今回ののらえもんで、一番心に残ったのは、紅葉した木に囲まれて食べた昼食です。周りの風景がとてもきれいで、昼食がいつそうおいしく感じました。
初めてのミカンがりは、おいしいミカンを見つけるのがとても大変でした。

鹿浜第一小5年

「紅葉の 木々に染まる 子らの顔」
和紙もみかんもお酒も、手間ひまかけて作られたものばかりでした。
大事にいただき、大切に使いたいと思いました。

母

「あまざけを ししょくしたら あまかった」
初めてのみかんがりをして思ったことは、あまいのとすっぱいがあるので、ちゃんと見分けてとったほうが良いと思いました。
こんかいも、いろんなことをしたので、よかったです。

北鹿浜小4年

「きょうは みかんをたべて おいしかった」
みかんをたべて、おいしかったです。

北鹿浜小2年

「いろいろと たのしいけれど まよったよ」
お酒のときは、つまらなかった。
みかんがりは、たのしかった。また〇〇〇がりにいきたい。
わしづくりのときはたのしかったけれど、くさかった。
おひるのとき、道にまよった。

北鹿浜小4年

「みかんがり 木がちいさくて こしいたい」
今日の和紙作りは、台みたいのが重くてビックリしました。
みかんがりは、ハズレばかりで、うざかったです。
でも、楽しかったです。

鹿浜中1年

「文化いさん たいけんしたら すごかった」
わ紙は、あんな水で、本当にできるのかなと思いました。そして、とう台の
ようなところにのぼりました。けしきがすごかったです。
みかんは、おいしかったです。

北鹿浜小4年

「みかんがり 大きいものが すっぱいな」
わしいけんが、たのしかった。
みかんがりで、みかんがすっぱかった。

鹿浜五色桜小3年 さいとう かいち

和紙をすくのが、重かったです。
みかんがりは、みかんがすごくすっぱかったです。
酒ぐらは、話がむずかしくてわからなかったです。
鹿浜五色桜小4年

「甘酒は おいしいらしい おれきらい」
みかんがすっぱい。
甘酒、まずい。

鹿浜五色桜小4年

「和紙作り においがちょっと きつすぎる」
「みかん狩り 天気の恵み おいしいね」
雨の1日を覚悟して参加しましたが、みかん狩りのときには晴れになり、
暑いぐらいでした。
初めてのみかん狩り、食べるよりお土産にがんばりました。

母

わしづくり、たのしかったです。
みかんをいっぱいとれてうれしかったです。
すっぱかったです。
おやまにのぼるのがたいへんだったです。

鹿浜五色桜小2年

「口の中 すっぱいみかんで しぶい顔」
和紙を作るときに、たてや横にふるのがむずかしかったです。
みかんがりは、すっぱいみかんがたくさんあったから、甘いのもたべたかったです。

鹿浜五色桜小6年

「和紙一枚 手間ひまかけた たからもの」
和紙作り・みかん狩り・酒蔵見学、どれもが楽しい体験でした。
特に、和紙作りの細やかな作業には、とても感心し、和紙が益々大好きになりました。
いつも楽しい企画、ありがとうございます。

伊興保育園園長

「久しぶり やっぱりいいな のらえもん」
昨夜よりわくわく、夜中何度か目がさめるほど……。久しぶりにわくわく、楽しい遠足気分の日でした。
紙すきを体験し、和紙ってこんなにいていねいにつくられているんだと、改めて知りました。
みかんのトンネルをくぐってのみかん狩りも、探検しているみたいな気分で楽しかったです。
お目当ての酒蔵では、甘口と辛口の違いを知り、またお酒の時間の話題になります。
こんなに楽しい一日ですっかり元気回復。明日からまた元気にがんばれそうです。
ありがとうございました。

板橋区立高島幼稚園園長